

第8回畜産衛生に関する帯広ワークショップ

「高泌乳牛の卵巢生理学」

「卵胞と黄体の基礎研究と臨床現場を結ぶ」

日時：平成19年11月17日(土) 9:00～17:00

場所：帯広畜産大学 講堂

英語講演は通訳付き、和訳総説を含むカラー印刷資料を無料配布、参加費無料

1. (9:00-9:05) : はじめに 宮本 明夫 (帯広畜産大学)
 2. (9:05-10:55) : 卵胞発育、卵胞選抜、排卵の生理学 : 分娩後の無排卵と卵胞腫脹へ移行する機序
Dr. Ahmet Gumen (Bursa, Turkey)
通訳 : 片桐 成二 (北海道大学)
 3. (11:10-12:10) : 黄体形成、維持、退行の生理学 : PGF 無反応性から PGF 反応性の内分泌器官へ
宮本 明夫 (帯広畜産大学)
- *** 昼食 (12:10-13:30) ***
4. (13:30-14:20) : 乳牛の授精開始はいつがよいのか？
 - 1) 経産牛 : 分娩後の授精開始はいつ頃が良いのか ~ 「1年1産」への疑問
 - 2) 育成牛 : 月齢優先 vs. 発育優先 ~ 初産分娩月齢とその後の繁殖山田 恭嗣 (根室地区 NOSAI 標津家畜診療所)
 5. (14:30-15:20) : 卵巢静止の治療について
 - 1) 分娩後、授精待期間が過ぎても卵巢静止の牛への治療法は？
 - 2) 卵巢静止はホルモン剤の単独治療で発情誘起できるのか？
プログラムの治療が必要か？
 - 3) オブシンの GnRH に反応して、正常な黄体形成にいたる卵胞の大きさはどのくらいか？武田 休史 (道南 NOSAI 損防指導室)
 6. (15:30-16:20) : 臨床現場における黄体機能評価法と妊娠成立の条件
 - 1) 生理的条件における黄体サイズ(直径、体積、発育速度など)と黄体ホルモン濃度からみた妊娠成立の条件
 - 2) AI 後の LH 製剤投与による受胎率向上効果鈴木 貴博 (北海道 NOSAI 企画研修部研修課)
 7. (16:30-17:00) : 総合討論 木田 克弥(帯広畜産大学), 片桐 成二 (北海道大学)

懇親会(18:00-20:00) 十勝ビール: 会費 ¥3,000

コーディネーター : 宮本 明夫 (帯広畜産大学大学院畜産衛生学専攻)
Eメール: akiomiya@obihiro.ac.jp TEL: 0155-49-5416 FAX: 0155-49-5459
主催: 文部科学省「魅力ある大学院教育イニシアティブ」プログラム
後援: 十勝獣医師会